

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

|   |         |  |
|---|---------|--|
| 1 | 施設名     | 仙台市岩切児童館   |
| 2 | 指定管理者   | 特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘   |
| 3 | 指定期間    | 平成29年4月1日から令和4年3月31日まで   |
| 4 | 施設の利用状況 | 《利用者数》 37,048 人 (前年度比 105.9 %)<br>平成30年度 34,977人<br>平成29年度 35,840人<br>平成28年度 43,672人   |
|   |         | 《事業》<br>児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業  |
| 5 | 収支の状況   | 《費用》<br>・ 指定管理者に支払った費用 65,791千円 ( 59,376 千円)<br>・ その他市が負担した費用 0千円 ( 0千円)<br>《収入》<br>・ 使用料収入 0千円 ( 0千円)<br>・ その他収入 0千円 ( 0千円) |
|   |         | ( )は前年度決算額   |
| 6 | 利用者の声   | 《実施状況》<br>利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者会を実施。  |

## 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

| 評価分野 |            | 所見  | 評価    |
|------|------------|---|-------|
| I    | 総則         | 「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。               | 33/33 |
| II   | 施設の運営管理体制  | 職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。   | 30/30 |
| III  | 施設・設備の維持管理 | 日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。  | 23/23 |
| IV   | サービスの質の向上  | 名札の着用、児童館だよりの発行、facebookの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。                        | 28/28 |
| V    | 施設固有の基準    | 児童クラブにおいては、用具を利用して空間を仕切ったり、活動別のコーナーを設定したりするなど、児童が落ち着いて過ごせる環境づくりに努めている。低学年には個人の関心に合わせて遊びの支援を行い、高学年にはゆったりと関わる機会を持つなど、年齢に応じた配慮を行っている。また、学校と緊密な連携が図られており、児童に関する情報共有が日常的に行われている。 | 18/18 |

### 三 評価総括

#### 《指定管理者（みやぎ・せんだい子どもの丘）による自己評価》

児童館ガイドラインを柱に、子ども達を真ん中に保護者、地域、スタッフが一緒に考え一緒に楽しんだ一年だったと感じている。また児童館の役割や意味をスタッフが共に学び実践を重ねることができた。

○児童健全育成事業 児童館ガイドラインが改正され、改めて児童館で行っている活動を子どもの参画の視点から意識し計画を実行した一年だった。おはなし会などでは、「はじめは緊張して嫌だったが、お客さんが喜んでくれる姿を見ると嬉しくなった」とそれ以降活動への取り組み方が変わり、後半の事業は子ども自身が積極的にアイデアを出し活動できた。

○子育て家庭支援事業 プレママ・プレパパ広場2年目。働くママの増加もあり、日時を設定してもニーズに合わなかったのか参加者の増加は難しかった。次年度は、ニーズの掘り起こしを行いたい。子育てネットワークでは、「わいわい広場」や「会議」などで、各機関と地域課題を共有し、昨年の反省を踏まえ活動することができた。

○地域交流推進事業 岩切特産のまがりねぎを題材にしたダンスは、地域を飛び出し活動している。また、社会福祉協議会や岩切おもしろ倶楽部から依頼を受けて地域寄席に参加したりと、子どもと大人と一緒に笑う機会をもらい、「児童館や児童クラブはいいね〜」とお褒めの言葉をいただいた。

○児童クラブ 本館、サテライト、タイムシェアと各クラブの特徴を生かし活動を行った。日常の積み重ねを大切にしながら個別・集団の中で子どもと関わり、その中で見えてきた家庭や学校での過ごし方などにも気を配り、連携を取りながら支援につなげることができた。また、子どもの遊びや頑張り、普段の様子を親子事業などを通して生で触れてもらい、親子で楽しさを共有することができた。

#### 《施設設置者（仙台市）による評価》

#### 総合評価

児童健全育成事業としては、遊びを通した子どもの育成を職員の共通理念として日々の育成支援に当たり、昔遊びや体を動かす遊びを中心に日々の遊びに取り入れている。活動場所についても、児童館はもとより、小学校の校庭、体育館、河川敷などを利用するなど創意工夫に努めている。また、子どもボランティア・プレボランティアの活動では、小学校低学年から中学生までの子ども達が定例行事や遊びの企画運営に取り組んでおり、異年齢による集団活動を通して、社会性や主体性を育んでいる。

地域交流推進事業では、地区の特産品である曲がりねぎを題材としたダンスを「JAフェスティバル」などで披露するほか、地域寄席に参加し子ども大喜利を開催するなど、年々、地域の様々な世代の方々との交流が盛んになっており、児童館の取り組みが地域活性化の一翼を担っている。

児童館だより等では、子ども達の様子や行事の内容をお知らせするだけでなく、保護者向けの災害マニュアルや職員研修での学びを記事にする等、子育てにおける有意義な情報を提供しきめ細やかな支援を行っている。

地域の子育て支援施設との細やかな情報交換や岩切子育て支援ネットワーク、虐待防止ネットワークなどによる地域連携を深める一方、妊娠期からの切れ目のない子育て支援策を講じており、横軸と縦軸の双方を意識した多岐にわたる保護者支援を提供している点が評価できる。

S

#### 四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

#### 特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課